

舟山やすえ

レポート

www.y-funayama.jp



発行元：舟山やすえ事務所

〒990-0039
山形県山形市香澄町3丁目2番1号
山交ビル8階
TEL：023-627-2780
FAX：023-674-0278

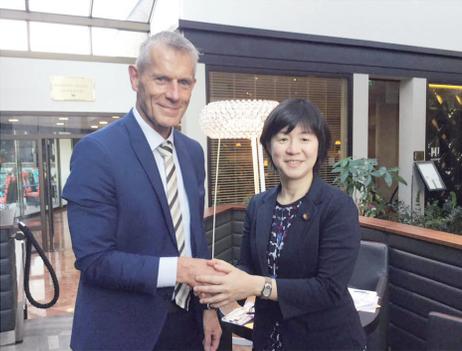
2017年
7月25日号

Vol.8

※たくさんの欧州議会議員と交流を深めることができました。

「第37回日本・EU議員会議」に出席してきました

日本の国会議員と欧州議会との公式な議会間交流「日本・EU議員会議」出席のために、衆参合わせて8人の国会議員が7月4日～9日の予定でストラスブール（フランス）、デュッセルドルフ（ドイツ）、パリ（フランス）に向かいました。会議出席のほか、欧州議会関係者との個別会談や欧州議会の傍聴、日本企業による現地の研究機関、日本文化や製品の発信拠点などの視察等を行いました。



7月4日、フランクフルト空港に到着、バスで3時間ほどかけてストラスブールへ。ストラスブールで今回の第37回 日本・EU議員会議を行います。

欧州議会の定数は751人。各国の人口比例で議員数が決まり、28の加盟国ごとに直接選挙で選出されます。

会議に先立ち、個人的にアポイントを取った、ドイツのヘルムント・シュルツ議員（欧州統一左派グループ所属）と、8時から40分間、ホテルのロビーで懇談しました。自由貿易には賛成だが、公正で多角的な視点が必要であること、情報が少ないことへの懸念など、かなり一致しており、今後、お互いの意見交換を約束しました。



7月5日、午前中には欧州議会要人との会談を行った後、15:00から日本・EU議員会議が始まりました。欧州議会は、28の国の、23の言語が使われ、それぞれが母国語で発言するので、本会議場を含め、すべての委員会室、会議室に同時通訳ブースがあります。今回、日本語の同時通訳があり、語学が？な私はホッと一安心。さて、日・EU議員連盟の会長である、石原伸晃大臣が合流、「20分ほど前に、岸田外務大臣とマルムストローム欧州委員とで大枠合意達成、明日の首脳会議で最終的な確認を得ることが決まった」旨、緊急報告がありました。会場からは喜びの声が聞こえ、概ね好意的な受け止めが多かったようですが、私には不安の思いが渦巻いていました。果たして、守るべきものはしっかり守る、攻めるべきものはしっかり攻める、という原則が本当に守れたのでしょうか。



参議院からは3名参加。
大家敏志議員（自民）左、
中西健治議員（自民）中。



TPPでの合意を急ぐあまり、妥協を重ね、国益を損ねてしまったのではないのでしょうか。現に、農産物に関しては、TPPでの約束をスタートラインに交渉を行い、ソフトチーズはTPP以上の譲歩をしてしまいました。

「大枠合意」ということで、紛争処理のあり方や個人情報保護のあり方など、先送りされた課題も多く、今後の監視とチェックが求められます。

6日の午前中までの会議の中で、日EU経済連携協定のほか、それぞれの経済情勢や当面する課題、移民問題や北朝鮮のミサイル問題



等、様々な問題を議論、共有できたことは大変有意義でした。

会議の合間には、個別の意見交換会や昼食会、夕食会などを行い、多くの欧州議会議員と親睦を深め、引き続きの意見交換を約束しました。今後の政策や関係強化に生かしたいと思います。

最後に確認した日EU経済連携協定、SPA（戦略的パートナーシップ協定）に関する共同声明では、自由貿易という言葉を使わず、「開放的な貿易体制」と表現したうえ、「その利益が社会全体に公平に行き渡らなければならない」とし、さらに、「議会人として、最終的な合意結果について注意深く監視し、検討する」との文言が入りました。議会の力量が問われます。





← 7日は、デュッセルドルフ市を中心に、デジタルハブのオフィス、ノルライン・ヴェストファーレン(NRW)州の経済振興公社、州議会などを訪問、意見交換。

写真は、州議会と、議会見学帰りの子どもたち。州の首相に会えなくて残念!と言っていました。



↑ 5日の夕食会場近くのストラスブール大聖堂をバックに



フランス出身、農民活動家のジョゼ・ボヴェ議員と(5日)



↑ デュッセルドルフの北、デュイスブルクにある島津製作所ヨーロッパ支社にて(6日)



PARIS



最終日、8日はパリ。パリでは、日本の文化や優れた製品などを発信している会社などを訪問しました。山形の铸件もありました!GI(地理的表示)認定を受けた、日本酒や米沢牛、さくらんぼなどもウケると思います。

ちょうど開催中だった、ヨーロッパ最大の日本文化の祭典、「第18回JAPAN EXPO」にも足を運んできました。日本のアニメやわび、さびがこんなにウケているなんてビックリ!すごい人で賑わっていました。これ、文化交流や観光振興に当たって重要な側面かもしれません。

シャンゼリゼ通りで今年4月20日に発生した、警官襲撃テロの現場に献花してきました。

